

令和3年度「非違行為防止研修」実施計画書及び実施報告書

※白黒反転しているセルは報告段階で記入。回数、月名等は数値のみ半角で記入。

郡市名	北安	市町村名	小谷村	学校名	小谷小学校	校長名	中村恭之
学校種(小:1,中:2,特支:3,義務:4)	1	記入者職名	教頭	記入者氏名	吉沢 真里		
電話番号	0261-82-3522	メールアドレス	otaries@otari.ed.jp				
非違行為防止委員人数	5	非違行為防止委員会主任職名	教頭	非違行為防止委員会第三者委員役職名	PTA会長		
非違行為防止委員会実施予定回数	3	非違行為防止委員会の実施回数		非違行為防止委員会実施月			
非違行為防止マニュアル・校内ルール点検改善予定期限月	9	非違行為防止マニュアル・校内ルール点検改善月		1人の教職員当たりの校長面談予定回数	3		
1人の教職員あたりの校長面談実施回数		1回の校長面談の平均実施時間(分)		校長面談実施月			
相談窓口の利用促進にかかわる工夫						相談窓口利用実績	
非違行為防止研修内容・校内ルールの公表方法	ホームページ掲載	公表予定回数	4	公表回数		公表実施月	

○本年度の非違行為防止に関わる目標

目標	自分の家族や児童を悲しませないために、教職員が教育公務員としての自覚と責任をもって、社会規範に反する行為を絶対に行わないようにする。 一人に負担を負わせることなく、教職員が互いに支え合い、信頼し合い、助け合える温かい職場を築く。
----	---

○非違行為防止研修の実実施計画と実施報告

研修の回数(下記に回数を入れてください)

実施月	非違行為防止研修実施計画	実施報告(教職員の参加の様子や反応、感想など)	研修の回数(下記に回数を入れてください)							
			講演・講習	マニュアル等作成	チェックリスト作成・実施	校内体制整備	資料等読み合わせ	協議・体験・演習	その他	
4月	職員会議で学校長から非違行為による教職員の信用失墜行為と、その影響の大きさについてご指導を受け、教職員全員が家族に向けた手紙形式で非違行為防止の誓いを記述する。		1			1		1		
5月	交通事故に遭ってしまった時の対応を確認すると共に、飲酒運転、スピード違反の事例から原因を考え、小集団で非違行為を回避する行動を話し合う。			1				1		
6月	職員会議での学校長の指導から、非違行為防止6策について再確認し、児童や保護者に信頼される教職員としてのあり方について共通理解を図る。		1				1			
7月	「非違行為の根絶に向けて」の事例(わいせつな行為)をもとに、スクールセクハラチェックシートで自分の言動を振り返って再確認する。				1		1			
8月	外部講師を招いたICT研修を通して、タブレットの活用の仕方と共に、個人情報保護等や非違行為防止のための対応策を学ぶ。誓いを再確認する。		1					1		
9月	児童理解の推進と共にアンガーマネジメントを学び、体罰(暴言)根絶のためのセルフチェックシートで、自分の言動を振り返る。PTA本部会を交えて非違行為防止マニュアルを見直す。			1	1		1			
10月	職員会議で、ハラスメントの判断基準や要素や6つの行為類型について全職員で見返しを行った後、チェックシートで各自が自分の言動を振り返る。				1			1		
11月	人権教育旬間に合わせた講師の講話を通して、人権感覚を磨き、命の重みや心ない一言が死を誘発することがあることを児童や保護者と共に考え合う。		1							
12月	小グループに分かれてグループごと討議の柱を決めて、それらを防止するための具体策を話し合う。誓いを再確認する。						1	1		
1月	学校評価の結果を共有し、小集団に分かれて、授業改善や児童への関わり方について意見交換し意思統一を行う。						1	1		
2月	情報媒体、個人情報の紛失防止マニュアルを再確認し、チェックシートで振り返って自己管理意識を高める。			1	1					
3月	検証報告書をもとに小集団で分かれて非違行為防止マニュアルの見直しについて検討し改善を行う。誓いを再確認する。			1				1		
合計			25	4	4	4	1	5	7	0

○実施した研修に対する非違行為防止委員(第三者の委員)の感想

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--